

公益財団法人水島地域環境再生財団

平成 25 (2013) 年度事業報告書

みずしまの過去をいかし
ずっと環境のよい
しあわせな
まちづくりをめざして

1. 重点項目

「みずしまプロジェクト」の推進

今年度は、よりよい環境を創り出していくことのできる人材を育てることを目的にした研修事業を拡大することに力をいれた。環境省受託事業「環境学習で人とまちと未来をつくる協働取組推進事業」では企業・行政・住民が構成する協議会をたちあげ、地域全体で研修が実施できるよう連携体制を広げた。また倉敷市水島中心地域まちづくり研修事業では、地域住民を対象に講演・野外研修・ワークショップと3回実施し、まちへの愛着を育む人づくり・まちづくりをスタートさせるなど、幅広い層を対象に研修を実施し、拡大することができた。

「和解 20 周年記念事業」関連事業の実施

3年後に迎える倉敷公害裁判の20周年に向けた取り組みとして、特定費用準備金の取り崩しを財源とし公害患者と家族の会40周年記念誌の発行を行った。内容は当事者と支援者の手記、新しく作成した年表、当時の資料(写真・ビラ等)である。患者、支援者、行政等に無料で配布した。地元新聞にも写真入りで大きく掲載されたこともあり、反響があった。

2. 個別項目

公益目的事業1(公1)

水島の公害経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざし、調査・研究・提言活動を実施した。

(1) 調査研究

・ 資料保存・活用分野(調査研究02)

(独法)環境再生保全機構サイト「記録で見る大気汚染裁判」リニューアル事業としてあおぞら財団が受託した事業に、現地として資料整理・目録作りの作業を行った。今年度は、倉敷市公害患者と家族の会のニュース(機関誌)、総会議案書、写真、ビラ、冊子を整理・目録化し、サイトリニューアルのためにデータを提供した。また学習素材に活用するため、小学5年生を対象に授業を行った。新しく発足した全国の公害資料館ネットワーク立ち上げに参加した。

(会議)

- ・ 公害資料館ネットワーク(新潟)2013年12月6~8日
- ・ 資料保存現地会議2014年2月6日
- ・ 全体会議2014年2月28日

(授業)

- ・ 倉敷市立水島小学校5年生 2014年2月5日

- ・ 環境保健分野（調査研究 05）

（独法）環境再生保全機構予防事業の請負 2 年目にあたる本年は、COPD に対する認知度を高めるために、患者向けおよび医療従事者向けの講習会を実施するとともに、地域の関係主体が連携して、COPD 予防と早期発見ならびに呼吸リハビリテーションの実施に取り組める体制作りについて引き続き検討し、課題を整理した。

 - ・ 患者向け講習会 2013 年 9 月 16 日、11 月 15 日
 - ・ 医療従事者向け講習会 2013 年 10 月 27 日、11 月 29 日
 - ・ 検討会 3 回実施 2013 年 7 月 30 日、10 月 21 日、2014 年 2 月 4 日
 - ・ 報告書作成：COPD 患者等の QOL 向上のための呼吸リハビリテーションの普及及び地域ネットワークの構築事業

- ・ 瀬戸内海の再生分野（調査研究 06）

岡山県内沿岸 7 市で進んでいる海底ごみ回収・処理体制づくりについてのフォローアップ調査を岡山県からの委託事業として実施し、現状と課題について把握し、提言をまとめた。

 - ・ 報告書作成：海底ごみ適正処理体制構築事業フォローアップ調査業務報告書

- ・ 温暖化防止分野（調査研究 08）

岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の評価分析を昨年引き続き実施した。また今年度は特定事業者アンケートを実施し、制度の問題点や活用にむけた意向等、現状を把握し、制度改善・活用に向けた提言をまとめた。

 - ・ 報告書作成：温室効果ガス排出算定・報告・公表制度の改善に向けた提言書（2013 年度）

(2) 提言活動（提言 01）

調査研究活動等で得られた知見、また研究者やNPO等との連携を活かし提言活動を行った。（岡山県河川整備検討委員会、岡山県環境審議会審議員、新岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員、国土交通省備讃瀬戸環境修復味野湾部会）

公2（公益目的事業2）

大気汚染公害・環境問題・環境再生・まちづくりに関わる普及啓発・支援事業

水島の公害経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざし、公1「調査・研究・提言活動」で得られた知見を活用し、市民や企業、行政、NPO等に学習の場を提供、活動の支援、情報の収集提供をおこなう。

(1) 講師派遣（講師視察 01）

市民の環境問題に関する理解を深めるため、高校・大学の授業や、公民館等へ講師を派遣する。以下のテーマを中心に 18 回派遣した。

*暮らしと環境・社会とのつながり

「食と環境と交通を考える ～フードマイレージ買い物ゲームを通じて～」

- ・ 川崎医療福祉大学 2013年7月12日
- ・ 暮らしき市民講座「買い物から考えるエコ育クッキング」2013年2月1日
「温室効果ガス排出算定報告制度について」
- ・ 倉敷市自治体問題研究集会 2013年5月19日
- *水島の地域開発と公害の歴史
 - ・ 川崎医科大学 2013年6月14日
 - ・ 川崎医療福祉大学 2013年6月21日
- *環境再生・まちづくり
「水島の経験と環境再生・まちづくり ～過去を学び、未来をつくる～」
「環境・まちづくりで働くということ」
 - ・ 水島中学校 2013年6月7日
 - ・ 倉敷南高等学校 2013年9月24日
 - ・ 矢掛高校 2014年3月4日
 - ・ 協働取組事業について：環境政策・保全活動の支援のためのパートナーシップ会議、EPO ちゅうごく 2014年3月14日
 - ・ 協働取組事業について：岡山県自治研集会 2014年3月16日
- 「八間川」
 - ・ 八間川をもっと知ろう！：水島小学校 2013年7月12日
- *海関連
 - ・ 船にのって、みんなで知ろう！漁業体験：おかやまコープ倉敷エリア 2013年4月4日
 - ・ アマモ場観察会（牛窓）：藤井印刷 2013年6月23日
 - ・ みんなでさがそう！海の生きもの：おかやまコープ倉敷エリア 2013年8月29日
 - ・ 瀬戸内海を知っていますか？（漂着物アクセサリ作り）：倉敷市クルクルセンター2013年9月7日
 - ・ 瀬戸内海の秘密（漂着物アクセサリ作り）：環境学習センターアスエコ 2013年9月28日
 - ・ 流域でとりくむ海底ごみ：ESD テーマ会議 2013年9月18日
 - ・ 海底ごみについて（中学生への講演）：海守さぬき会 2013年2月19日

(2) 普及啓発（講座・展示）

倉敷市環境学習センターでの学びと交流の場を活用しながら、講座を開催した。またイベント等に出展し、市民へ広く普及啓発を行った。

- * 講座開催：調査研究を通して得られた知見を市民へ伝える機会として講座を開催した。
 - ・ 自転車を活用したまちづくり ～体験講座～：倉敷総社温暖化対策協議会と連携して実施し、2回のイベント実施と、パネル作成を行った。
暮らしき百景を自転車で訪ねるプロジェクト（藤戸編）2013年9月8日
STOP 温暖化イベントでパネル展示 2013年12月8日
暮らしき百景を自転車で訪ねるプロジェクト（酒津・祐安編）2014年3月2日
 - ・ フードマイレージ買いものゲーム指導者育成講座（学習講座 01）：年賀寄付基金の

助成金として実施した。現場の声をヒアリングし、岡山版をリニューアルして完成させた。

親子でチャレンジ！フードマイレージ買いものゲーム講座 2013年7月28日

フードマイレージ買いものゲーム体験（漁業体験イベント内）2013年8月24日

- ・ 漁業体験を通じた海の環境学習（瀬戸内海02）：子ども夢基金の助成金として実施し、親子で瀬戸内海の環境について学ぶ機会とした。

船にのって、みんなで知ろう！漁業体験 2013年8月24日

- ・ 八間川調査(学習講座02)：倉敷市環境学習センター連携事業として2回開催した。

2013年6月30日、8月11日

- ・ 深刻な中国の環境汚染と社会の取り組み：講師に鳥取環境大学准教授相川泰氏を招いて、日中友好協会との共催で開催した。2013年12月14日

*展示

- ・ 倉敷市環境フェスティバル 倉敷の海・アマモ 2013年6月1日

- ・ 生き生きフェスタ 倉敷の海・活動全体 2013年6月16日

- ・ リサイクルフェア in 暮らしき 倉敷の海・海底ごみ 2013年10月6日

- ・ 倉敷市農業まつり フードマイレージ買い物ゲーム 2013年11月24日

- ・ STOP 温暖化倉敷2013 フードマイレージ買い物ゲーム 2013年12月8日

- ・ 第一回おかやま環境教育ミーティング 2014年2月11日

(3) 研修・視察

重点事項として位置付け、対象に応じた内容で企画・実施した。今年は新たに県外の町内会役員の受け入れがあった。またみずしま財団が監修、全観トラベルネットワークが企画実施している大学生のための社会見学&エコツアーを今年度は2回開催した。

* 研修受入（研修03）

地域資源を活用し、環境再生・まちづくりを学べる視察・研修の企画・実施を行った。

- ・ 倉敷医療生協新入職員研修 2013年4月2日

- ・ 岡山大学キャンパスアジアサマースクール 2013年8月15日～16日

- ・ 島根大学留学生受け入れ 2013年7月5日

- ・ 川崎医科大学医学生受け入れ（年5回）

- ・ 多度津町連合町内会（旅行業者サントラベル）受け入れ 2013年8月29日

- ・ 大学生のための社会見学&エコツアー「水島コンビナートと、海の環境再生を学ぶ旅」2013年9月6日 ※今年度は環境省協働取組事業と連動。

- ・ 大学生のための社会見学&エコツアー「水島コンビナートと、地域再生を学ぶ旅」2013年3月6日

* 研修の実施（研修02）

倉敷市の事業として水島中心地域まちづくり研修事業業務を実施し、「子どもの自然体験を支え、まちへの愛着を育む人づくり・まちづくり」をテーマに、講演会、体験学習、ワークショップを開催した。参加者は「子どもが笑顔いっぱいにつつま地域づくり」について学び合い、水島のまちづくりについて対話することができた。

- ・ まちづくり講演会&エコカフェ 2013年9月28日

- ・ まちなか自然体験 in 水島 体験！八間川の生きもの探し 2013年10月14日
- ・ まちをすきになるワークショップ 地域の環境を守るためにできること 2013年11月9日（協力：笑顔でまちづくり応援隊）

(4) 支援・連携

* 市民の環境支援

・ 倉敷市との懇談会（連携 07）

エコらば倉敷を事務局として運営し、倉敷市の環境施策や環境学習について議論を行った。6月に環境月間における懇談会、9月に環境基本計画を学び育てる懇談会、エコ遠足を実施した。

「6月の環境月間における懇談会」

11回目となる今年度は外部講師を招き、行政・市民・市民団体がともに学んで、対話する形式で実施した。

講師：船木成記氏（尼崎市顧問、博報堂） 「環境・つながり・まちづくり講演 & ワールドカフェ」2013年6月17日 32名

「環境基本計画を学び育てる懇談会」

倉敷市第二次環境基本計画の進捗状況の把握、評価の協働実施をめざして実施した。今年度は、倉敷市第二次環境基本計画の概要と進捗に加え、生物多様性地域戦略策定について倉敷市の担当職員に解説を依頼し、9月に一度開催した。

9月30日（月）14:00～16:00 環境政策講座「環境基本計画を学び、育てる懇談会」

場所：倉敷市環境学習センター エコギャラリー

参加者：18名（市民7名、行政11名）

「エコ遠足」

公共交通を活用して、市内の環境の状況を実際に見に行くエコ遠足の事務局を担った。

2013年6月4日（火）エコ遠足で行く自然史博物館&美観地区、

2013年9月23日（祝）ミズアオイ観察とクルクルセンターへの旅

* 地域活動・まちづくり支援（連携 04）

環境省の委託事業として、地域活性化を担う環境保全活動協働取組推進事業

倉敷市水島地域に暮し、働き、学びあう方々が協議会を立ち上げ、水島地域のもつ産業力・環境力・公害を克服してきた力と経験を環境学習や人材育成、教育旅行に活かすことを話し合った。パネルディスカッションでは、協議会での話し合いの成果を社会へ発信し、各方面から意見を聞き、水島地域の未来ビジョンを描くことを目的とし実施した。

- ・ 協議会：環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会

（第一回2013年8月19日、第二回2013年12月2日、第三回2014年2月13日）

- ・ 大学生のための社会見学&エコツアー「水島コンビナートと、海の環境再生を学ぶ旅」2013年9月6日
- ・ パネルディスカッション「環境学習で人とまちと未来をつくる！」：2014年1月25日

・ パネルディスカッションに向けた事前勉強会：2014年1月16日

* 「過去の資料を活かして、未来をつくる事業」の推進（連携01）

患者会40周年記念として、活動の整理と再評価を行い、発行物を作成した。発行物への反響が高く、当事者や支援者の声を社会に伝えていく重要性を再確認した。また保存・整理された資料を有効に活用することができた。

・『倉敷市公害患者と家族の会40周年を迎えて』 1000部、12月発行

* 他団体の支援・連携（団体支援07）

昨年度に引き続き水島おかみさん会から委託をうけて事務作業を担い、水島のまちづくりを支援した。ストップ温暖化倉敷の実行委員会メンバーとして会議に参加し、イベント開催に協力した。おかやま環境教育ミーティング実行委員メンバーとして企画運営に関わった。

(5) 情報発信・収集／資料館（出版共通・01～06、機関誌01～02、資料室01）

調査研究で得られた知見や、水島地域の情報などを発信するとともに、地域、公害・環境に関する資料や情報を収集し、提供した。

* みずしま財団より

隔月で、年6号発行した。

* 発行物

各種事業で報告書を作成した。

* コミュニティメディア

地域誌やケーブルテレビ、コミュニティFMをはじめとしたコミュニティメディアを中心に、情報発信を行う。FMくらしきの番組内でのコーナーでは、みずしま財団の活動や環境に関する最新情報や地域情報などを発信した。

* ソーシャルメディア等

サイト・ブログ、facebook、ツイッターの連動により、効果的な情報発信を目指した。

* 資料室

所蔵図書 of 整理を継続し、活用に努めた。